

# JACET中国・四国支部 Newsletter

## 第 32 号

### 目 次

1. 巻頭言	支部長	岩中 貴裕	pp. 1-2
2. 2023 年度秋季支部研究大会報告	事務局幹事	寺嶋 健史	p. 3
3. 2023 年度支部第 2 回役員会報告	事務局幹事	寺嶋 健史	p. 4
4. 2023 年度支部研究会 OPP イベント報告	OPP 代表	三熊 祥文	p. 4
5. 2024 年度春季研究大会発表応募要領			p. 5
6. 2024 年度『JACET 中国・四国支部研究紀要』投稿募集			pp. 5-6
7. 事務局だより			pp. 6-7
8. 編集後記			p. 7
9. 【重要】ニューズレター（NL）配信についてお願い			p. 7

## 1. 巻頭言

中国・四国支部長 岩中 貴裕

会員の皆様、明けましておめでとうございます。年末年始はどのようにお過ごしされたのでしょうか。私は山口市内の自宅でのんびりと過ごしました。元旦は家族 4 人で、近所の八幡宮まで歩いて行きました。子どもが大きくなってくると家族みんなで出掛ける機会が段々と少なくなってきます。娘、息子、奥さん、愛犬、そして私が揃って歩いたのは久しぶりでした。

ご存知のように 2024 年は元旦から悲しいニュースが続きました。元旦は自宅でのんびりしていた時に、能登半島地震のニュースが耳に入ってきました。10 年以上前になりますが、輪島朝市は家族で行ったことがあります。1 月 2 日は羽田空港での事故がありました。原因はまだ完全には明らかになっていませんが、お亡くなりになられた方に心よりお悔やみを申し上げます。

さて、2023年度後期の授業も残すところあとわずかとなりました。皆さんにとって2023年度はどんな年だったでしょうか。

私は久しぶりに対面での学会に参加することができ、研究仲間と会えることの素晴らしさを体感することができました。オンラインでの学会はある意味では便利です。他の仕事が入っていても、空いた時間に少しだけ学会に参加するということができます。しかし、私にとっては対面での学会の方が、遥かに学びが多いように思います。2023年は、JACET 関係だけで学会に5回参加することができました。簡単に説明させていただきます。

2023年1月に、JACETの提携学会であるThailand TESOLで発表させていただきました。開催地であるバンコックへの移動日の前日は、山口市内で大雪が降りました。当日は雪による新幹線の遅れを気にしながら、福岡国際空港に向かったのをよく覚えています。この学会での発表は初めてでしたが、日本からもたくさんの研究者が参加されていました。

中国・四国支部の研究大会は6月と10月に開催されました。6月は安田女子大学、10月は松山大学での開催となりました。対面での研究大会は久しぶりで私自身は発表しませんでした。多くのことを学ばせていただきました。2023年度は春季研究大会も秋季研究大会も講演を実施することができました。

春季研究大会では広島工業大学の三熊祥文先生に「教育的文脈における「祭り」の持つ力、否、「祭り」こそ教育であること」という題目でご講演をしていただきました。

「祭り」をアナロジーとして、OPPのようなイベントが英語プレゼンテーション力の育成にどのように貢献するのかについてお話していただきました。三熊先生自身の教育実践に基づいた素晴らしい内容でした。

秋季研究大会は松山大学大学院言語コミュニケーション研究科との共催となりました。早稲田大学の李在鎬(リ・ジェホ)先生に「ChatGPTと言語教育—言語教育における生成型AIの役割」という題目でご講演を

していただきました。「AIと言語教育」の望ましい関係とは何か、語学教師の立ち位置はどのように再定義されるかについて理解を深めることができました。

8月には2つの国際学会に参加することができました。ひとつ目は8月29、30、31日に明治大学で開催されたThe 62<sup>nd</sup> JACET International Conventionです。対面での実施は2019年以来です。2019年は公務のため参加できなかったもので、私には2018年以来の参加となりました。ここでは学位取得の際にお世話になった先生にお会いすることができました。

もうひとつは8月18日、19、20日に韓国のテジョンで開催されたAsia TEFL 2023です。JACETのメンバーであれば発表が可能です。ぜひ皆さんもこの学会での発表を検討してください。

では最後に、2024年度の支部研究大会と国際大会の情報共有をさせていただきます。2024年度中国・四国支部春季研究大会は6月8日(土)に私の所属先である山口県立大学で開催予定です。山口線の宮野駅から徒歩圏内です。新山口駅から少々時間がかかりますが、豊かな自然に恵まれた快適なキャンパスです。皆様のお越しをお待ちしております。

秋季研究大会は10月12日(土)または10月19日(土)に愛媛大学で開催の予定です。ぜひお早めに日程の調整をお願いします。

The 63<sup>rd</sup> JACET International Conventionは、8月28、29、30日の日程で、愛知大学で開催されます。これまで国際大会は各支部が実施してきましたが、第63回大会から運営方法が異なります。大会の会場は愛知大学ですが、大学英語教育学会の西ブロック(中部、関西、中国・四国、九州・沖縄)が協力して実施する大会となります。発表を予定されている先生方へは大会運営の協力を依頼させていただきます。その時はぜひご協力をお願いします。

2024年が皆さんにとって素晴らしい年になりますことを祈念しております。

(山口県立大学)

## 2. 2023 年度秋季支部研究大会報告

事務局幹事 寺嶋 健史

2023 年度 JACET 中国・四国支部研究大会は 10 月 21 日（土）に松山大学大学院言語コミュニケーション研究科との共催という形で、愛媛県の松山大学で開催されました。前半は JACET の秋季研究大会、後半は松山大学大学院の特別講演会でした。両イベントを通して、学生も含めて約 50 名の参加者がありました。

前半の研究発表は以下の 4 件でした。

- (1) コミュニケーションにおける副詞: 中学校英語教科書比較 (Adverb Use in Communication: An Analysis of Junior High School English Textbooks)

河原田有香 (神戸松蔭女子学院大学  
大学院生)

中学校英語教科書 3 社の中で、話者指向の副詞の下位分類 (評価副詞、法副詞、領域副詞、接続副詞、語用論的副詞)、主語指向の副詞と頻度の副詞の使用について場面別に分けて件数を調べた研究発表でした。

- (2) The preconceptions and needs of students preparing for the IELTS (IELTS 受験者の先入観とニーズ)

Gerardine McCrohan &  
Gareth Perkins  
(Kagawa University)

イギリスの大学に交換留学を希望する大学生が、IELTS のスピーキングとライティングセクションに不安を覚えるという調査結果に基づいて、3 日間の集中シミュレーショントレーニングをした成果に関する発表でした。

- (3) Critical Thinking Instruction: Is There a Place for Art in the EFL Classroom? (クリティカルシンキングの指導: EFL の授業にアートの居場所はあるのか?)

Mark Swanson

(Yamaguchi Prefectural University)

EFL の授業で、芸術作品を観察して気づいたことや意味がよくわからないことを描写させる活動を通して、学生の批判的思考スキルを伸ばすことができるか、という興味深い研究発表でした。

- (4) How to Maintain Motivation with Unmotivated Students (学習意欲の無い学生の意欲を持続させる方法)

Douglas Parkin

(Yamaguchi Gakugei University)

高校と大学で教育経験豊富な 3 名のベテラン指導者が、動機付けが低い学習者のやる気を引き出すために用いた指導技術についてインタビューした研究発表でした。

後半の特別講演会では、早稲田大学大学院日本語教育研究科教授の李在鎬先生を講師にお招きし、「ChatGPT と言語教育一言語教育における生成型 AI の役割」という演題でお話しいただきました。現在最もホットな話題の 1 つということもあり、質疑応答の時間には ChatGPT の現状、問題点、今後のあり方などに関して、聴衆、特に学生からたくさん質問が出ていました。ChatGPT の出現により、その基となる大規模言語モデル (LLM; Large Language Models) の技術的詳細が明らかになる前に生成 AI の社会実装が進んでしまっている現状を踏まえ、AI と語学教育の望ましい関係やそれを見据えた今後の語学教師の役割について改めて考えさせられる講演でした。

(松山大学)

## 3. 2023 年度 JACET 中国・四国支部

### 第 2 回役員会報告

事務局幹事 寺嶋 健史

2023 年 10 月 21 日 (土) に松山大学桶又キャンパスで開催された第 2 回支部役員会にて、2024 年度の事業計画 (案)、予算 (案) および人事 (案) について話し合いが行われましたので、お知らせいたします。

1) 春季研究大会

日程：2024 年 6 月 8 日 (土)

場所：山口県立大学

(山口県山口市桜島 6-2-1)

2) 秋季研究大会

日程：2024 年 10 月

場所：愛媛大学で開催予定

(愛媛県松山市道後桶又 10-13)

3) Oral Presentation & Performance (OPP) 研究会

日程：2023 年 12 月開催を検討中

場所：未定

4) 支部紀要・支部ニューズレター

・『大学英語教育学会中国・四国支部紀要』(第 21 号)

発行：2024 年 3 月 31 日 (予定)

・支部ニューズレター

発行：2023 年 7 月 30 日 (第 31 号)

2024 年 1 月 20 日 (第 32 号)

## 4. 2022 年度支部研究会 OPP イベント報告

OPP 代表 三熊 祥文

2009 年に第 1 回目を開催して以来、コロナを挟んで 13 回続いた OPP (Oral Presentation & Performance) ですが、2023 年度については諸般の事情を勘案し、開催が見送られることとなりました。昨年対面での完全復活を果たした OPP ですが、研究会のメンバーの間で検討した結果、このイベントが祭りとして成立するには少なくとも 5 団体の参加が求められるであろうとの見解に到達し、結果的に参加希望がそれに大きく届かなかったことが主な理由です。この決定は私たちにとっても非常に残念なことです。イベントの教育的な価値を維持するためにはやむをえない措置であ

ると考えました。参加を楽しみにして下さった皆様には大変申し訳なく思う次第ですが、ご理解いただければ幸いです。

OPP はこれまで、英語コミュニケーション能力の向上のための「祭り」として、多くの学生たちに貴重な機会を提供してきました。その精神は変わらず、これまでの取り組みの貴重な蓄積が適切な形で還元されるよう、今後もメンバー一同 OPP と向き合っていく所存です。引き続き OPP 研究会への変わらぬご支援、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

(広島工業大学)

## 5. 2024 年度春季研究大会発表募集要領

2024 年 6 月 8 日（土）に 2024 年度春季研究大会が開催される予定です。下記のとおり、研究発表の募集をいたします。奮ってご応募ください。

支部春季研究大会

日時：2024 年 6 月 8 日（土）

場所：山口県立大学大学

（山口県山口市桜島 3-2-1）

A) 応募情報（英語での併記もお願い致します）

a. 発表題目 (Title)：日本語と英語

b. 種別 (Style)：自由研究発表、実践報告、事例研究など

c. 氏名 (Name)：

d. 研究領域 (Research Area)：

e. 概要 (Abstract)：目的、背景、仮説、方法、結論、引用文献など日本語の場合は 600 字以内、英語の場合は 250 words 以内とする。

f. 所属 (Affiliation)：

g. 使用機器 (Equipment needed)：

h. 連絡先 (Contact Address)：メールアドレスなど

B) 申込応募期間

■2024 年 5 月 24 日（金）

午後 11 時 59 分まで

■申込先

下記支部 HP の申込フォームをご利用ください（発表、および懇親会への参加申込ができます）。

<https://ws.formzu.net/dist/S78585634/>

C) プログラムおよび発表スケジュール詳細

は支部会員 ML、および支部 HP でお知らせします。（支部会員 ML へのアドレス追加をご希望の方は事務局までご連絡ください）。

■問い合わせ先

事務局幹事 寺嶋健史（松山大学）

tterashi@g.matsuyama-u.ac.jp

## 6. 『JACET 中国・四国支部研究紀要』第22号 投稿募集

質的研究や量的研究など様々な観点に基づく論文、リサーチ・ノート、実践・研究報告、およびブックレビューの4つの分野の研究発表を掲載する場として、年1回3月に支部紀要を刊行しています。

応募資格は、所定の学会費を完納した支部会員とします。ただし委嘱原稿については、この限りではありません。

投稿論文は、原則として過去2年以内に開催された国際大会および支部大会で発表を行った研究にもとづくものが望ましいです。

審査は、委嘱原稿を除き、紀要編集委員会

が指名する審査員が担当し、査読の結果を踏まえて編集委員会が採用の可否を決定いたします。

JACET 中国・四国HPにある投稿規程をご参照の上、奮ってご応募ください。

なお、発行までの日程は原則として下記のとおりです。

■論文投稿申込締切り：9月末

■投稿原稿締め切り：10月末

■審査結果通知：12月末

■修正原稿締め切り：1月末

■刊行：3月末

なお、投稿資格は、所定の学会費を完納した支部会員に限ります。複数名による投稿の場合には、必ず本支部会員1名を含むこととし、その他の投稿者も論文投稿時にはJACET会員でなければなりません。

投稿先：支部HPフォームズから（詳細はニ

ューズレター次号でお知らせします。）

お問い合わせ：紀要編集委員会委員長  
中山晃（愛媛大学）

E-mail:  
nakayama.akira.mm@ehime-u.ac.jp

## 7. ～事務局だより～

2023年7月から現在までの新入会員はいません。

2024年度の支部人事および本部運営委員をお知らせいたします。支部活動発展のために力を尽くしますので、よろしく願いいたします。

### 【支部役員】

支部長 岩中貴裕（山口県立大学）  
副支部長 平本哲嗣（安田女子大学）  
寺嶋健史（松山大学）

支部幹事（\*は事務局幹事）

寺嶋健史\*（松山大学）  
山中英理子（広島国際大学）

支部会計担当者

小崎順子（川崎医療福祉大学）

支部研究企画委員（24名）

五百藏高浩（高知県立大学）  
池野修（愛媛大学）  
岩井千秋（元広島市立大学）  
岩中貴裕（山口県立大学）  
ウィリー・イアン（香川大学）  
上西幸治（元福山大学）  
折本素（愛媛大学）  
カワモト・ジュリア（愛媛大学）  
小崎順子（川崎医療福祉大学）  
小山尚史（岡山大学）  
高垣俊之（尾道市立大学）  
田淵博文（元就実大学）

寺嶋健史（松山大学）  
中住幸治（香川大学）  
中山晃（愛媛大学）  
二五義博（山口学芸大学）  
平本哲嗣（安田女子大学）  
松岡博信（安田女子大学）  
三熊祥文（広島工業大学）  
三宅美鈴（広島国際大学）  
森谷浩士（岡山大学）  
山川健一（安田女子大学）  
山中英理子（広島国際大学）  
ローレンス・ダンテ（就実大学）

### 【本部委員】

理事 岩中貴裕（山口県立大学）  
総務委員会（支部事務局幹事）  
寺嶋健史（松山大学）  
財務委員会（支部会計担当者）  
小崎順子（川崎医療福祉大学）  
国際大会組織委員会本部  
山川健一（安田女子大学）  
『JACET 通信』委員会  
森谷浩士（岡山大学）  
学術出版委員会紀要担当  
平本哲嗣（安田女子大学）  
学術出版委員会 Selected Papers 担当  
平本哲嗣（安田女子大学）  
セミナー事業委員会  
中住幸治（香川大学）  
研究促進委員会  
二五義博（山口学芸大学）  
学術交流委員会  
ウィリー・イアン（香川大学）

大学英語教育学会賞運営委員会  
池野修 (愛媛大学)  
学術出版委員会 Selected Paper 担当  
中山晃 (愛媛大学)

平本哲嗣 (安田女子大学)  
寺嶋健史 (松山大学)

## 【編集後記】

2024 年は甲辰(きのえたつ)です。「甲」は草木の成長を表す意味があり、それにちなんでどんどん勢いを増して増えていくという意味があるそうです。本年がみなさまにとって、昨年まで努力してきたこと・準備

してきたことが実を結んで成就する年になることを願います。春季研究大会でみなさまとお会いできるのをたのしみにしています。

今年もどうぞよろしくお願い致します。

## 【重要】 JACET (大学英語教育学会)

中国・四国支部ニューズレターの配信について

支部長 岩中貴裕 (山口県立大学)

中国・四国支部では、支部会員のみなさまにより迅速な情報提供を図るべく、2014 年度よりメールにてニューズレターを配信しています。お知り合いの会員の中で、まだ登録をされていない方がおられましたら、下記要領にて登録をされますよう、お知らせください。ご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

1. 支部 HP (<http://jacet-chushikoku.com/>) にアクセスする。
2. 入力フォームのサイトのページ (<http://ws.formzu.net/fgen/S61768122/>) に入る。
3. ウェブの入力フォームに以下の【入力情報】を入力する。

## 【入力情報】

- ・お名前
- ・所属
- ・メールアドレス・支部のメーリングリストに登録を希望しますか?
  - すでに登録している
  - 希望する
- (※すでに事務局からのメールが届いている方は登録済みです。)
- ・登録を希望するメールアドレス

※ニューズレターはメール送信とともに、支部ホームページでも公開します。

なお、上記の作業についてご不明な点がありましたら、事務局幹事の寺嶋までお問い合わせください。

アドレス : [tterashi@g.matsuyama-u.ac.jp](mailto:tterashi@g.matsuyama-u.ac.jp)

メールアドレスを変更された方は、事務局までお知らせください。

JACET 中国・四国 Newsletter 第 32 号

2024 年 1 月 20 日 発行

発行人 : JACET 中国・四国支部 支部代表 岩中 貴裕

編集 : JACET 中国・四国支部 事務局幹事 寺嶋 健史

発行所 : 〒790-8578 愛媛県松山市文京町 4 番 2 号 松山大学 人文学部

連絡先 : E-mail: [tterashi@g.matsuyama-u.ac.jp](mailto:tterashi@g.matsuyama-u.ac.jp)